

▼各常任委員会を9月7、8日の2日間開催し、提案されている議案等の内容、各課所管業務の進捗状況について、関係各課長等から説明を受けました。各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

【総務経済常任委員会】

◎総務課所管

Q 村の人口が減少している中で、職員数も考えるべきではないか。

A 経常経費の抑制として、定数100人のところ80人としている。責任の度合いを考えると、正常の運営ができない。今後は定年延長や再任用もあり、最高で9人とみている。

Q ひらた中央病院周辺村道で発生した損害賠償の詳細は。

A 村道に敷設されたグレーチング上で、車の破損事故が発生。

村で賠償金を支払うこととなった。

Q 旧永田小学校校体育館改修工事の進捗状況は。

A 今年度中に完成する。構造上、簡単に改修できない。有効に使える良い工法を考えている。

◎住民課所管

Q 消防団員について、

就労状況の変化による組織改革の取組が必要ではないか。

◎健康福祉課所管

Q おたふくかぜに対する村としての対応は

A おたふくかぜは法定外予防接種のため、集団などに入る前(こども園入園前)の接種指導をしている。現在、国では定期接種を検討している。

Q 今後の高齢化率を考

え、関係各課連携し、健康で過ごせるよう対策が必要では。

A 元氣クラブ、ちよこつと助け隊など地域と密着した介護予防に取り組んでいる。

◎産業課所管

Q 補正予算の商工観光費、郡山コンベンションビュロー負担金とは。

A 郡山商工会議所が主体となり、郡山駅内のPR画像、企業会報等への広告を掲載する負担金。村は必要な資料を提供し、相手方が作成する。

Q 森林再生事業の年度別実施計画書はできているのか。住民にきちんと知らせるべきではないか。

A 座談会等でお知らせするよう検討する。

Q あじさい植栽について、どのような品種を何本買うのか。ハウスで育てているものもあるのでは。

A 新品種をまとめて20〜30本導入。育苗センターのものは、主に補植用。

Q 奥羽大学への委託事業(薬用植物機能成分分析業務委託)の結果は出たのか。

A 収穫期かどうかの分析中であり、今後の結果によって収穫し使用(商品化)していく。

Q 地域整備課所管

◎地域整備課所管

Q 村道1281号線(小平字小平ノ糶田間)の規格と概算工事費の内容は。

A 車道5.5m+歩道2.5mを予定。橋梁を除く工事費8億円程度を見込んでいます。

◆要望

・LED防犯灯設置について、各行政区パランスよく設置してほしい。

・携帯電話について、

どの機種でも電波が入るよう行政側で対応してほしい。

小平、蓬田にある養蚕組合の施設について、老朽化し危険である。所有者を確認し撤去してほしい。

・スポーツクラブ補助金が打ち切りとなる。来年度予算編成前にクラブのあり方を検討してほしい。

現地視察として、村道1252号線道路改良工事(東山字石田地内)など10か所を現地視察しました。

今年度、すでに7割の工事が発注され、村内各所で施工されていることから、工事に係る監督業務、竣工検査については万全の体制で実施すること、工期の遵守が図られるよう要請します。

総務経済
常任委員会

現地視察として、村道1252号線道路改良工事(東山字石田地内)など10か所を現地視察しました。



村道逆水論田線小平工区道路改良工事現場

【文教厚生常任委員会】

◎総務課所管

Q 実質公債費比率試算では、過疎債57億円を見込んでいるが、

今後、村道逆水論田線整備事業やジュピアランドひらた駐車場第2工区整備事業等により、実質公債費比率18%を超えることにならないか。

A 村道逆水論田線は、国の交付金や、県が代行して実施する過疎代行事業を活用し実施したい。また、ジュピアランドひらた駐車場第2工区整備事業については、

第1工区が整備された後に検討していく。実質公債費比率は18%を超えないよう、財政面も考慮した行政運営を図る。

◎住民課所管

Q 村職員に防災士は何人いるか。

A 2人。ここ3年位で消防団10人程度に資

格取得してもらった。今年度からは受験が郡山から仙台に変わり、予算確保が難しい。

Q 地方路線バス維持対策事業補助金の支出抑制のため、バスを小型化できないか。

A 村独自の意見だけでは難しい。近隣市町村と調整しながら福島交通に要望していきたい。

◎健康福祉課所管

Q ちよこつと助け隊の会員規模数は。ボランティアは有償か無償か。

A 上限は定めず申込者全員と考えている。(28年度約50人受講)。サービスを受ける側は、有償の方が頼みやすいとの見解もあり、視察検証等を参考に検討する。

Q よもぎ荘の増床問題は。財源が問題なのか。

A 財源のみならず、施

設の構造上の問題、職員配置体制(人員不足)から、石川福祉会は消極的な考え。

◎産業課所管

Q 園芸作物パイプハウス設置事業について、もっと使いやすい喜ばれる内容に切り替えるべきでは。

A 税金の無駄使いにならないよう、収益を上げて更なる営農拡大をするという条件にした。

Q イノシシ対策はどのようになっているか。イノシシは減っていない。

A 住宅密集地帯にも出没している。芝山付近にくり畷を設置し、実験している。

Q 今放射能汚染の牧草は、その後、進んでいないようだが。

A 原発事故当時の牧草ロール回収について、まだ環境省から連絡がない。作業が相当遅れている。最終的に回収する場合は、トンパックに詰めて持って行く。

◎地域整備課所管

Q 農業集落排水について、北方地区の接続率向上についての取組は。

A 未加入戸数40件について、個別訪問するなど加入促進を行う。

◎教育課所管

Q 今年度から蓬田地区も追加となった中学校スクールバスの予算は。

A 3,800万円位となり、今の小学校と同じ位である。

Q 朝の登校時、中学校においてスクールバスにより一般車が危険ではないか。バス停留場を設置できないか。

A 基本的には一方通行で、小松原側から入り、永田側から出るよう、保護者にお願している。

文教厚生
常任委員会

ひらた清風中学校校舎・体育館が完成し、子どもたちは最新の設備を備えた新校舎で、

より一層快適に学校生活を送っていることと思われま。通学路の安全確保のため横断歩道及び街路灯の設置、水泳プールの早期完成を要請します。



来場者を魅了した学校祭



早期の安全確保策を要請(中学校入口)